

高川小だより

令和8年(2026年)7月17日

発行者：校長

高川小HPはこちら➡



今日で1学期も終わり。あっという間の1学期だったでしょうか。それとも長い1学期だったでしょうか。学期の始めに校長先生よりお話した、「自分を大切に」「友だちも大切に」「新しいことにチャレンジ」の3つは、達成できたでしょうか。

これから約1か月の長い夏休みが始まります。1学期を振り返って、お家でもお話をしているとよいと思います。特に夏休みは新しいことにチャレンジするよい機会です。自分が興味を持っていることや、疑問に思っていることなどを、考えたり、調べたり、体験したりして、1学期の学びのまとめに、そして2学期へのスタートラインにしてもらえればと思います。

自然学舎

6月2日、3日に予定されていた自然学舎ですが、台風の影響で7月6日、7日に延期となっていました。

しかし、1日目は朝から雨が降っていて、魚つかみやカヤックやキャンプファイヤーもできないのでは？と心配の中、バスの中ではバスレク係の人の楽しい歌やゲームのおかげで、あっという間に滋賀県高島市の白浜荘に到着。魚つかみは翌日に変更していただき、午後は体育館でダンシング玉入れを楽しみました。途中から音楽が再開されても玉入れに夢中になったり、そのあとも綱引きにドッジボールにボルダリングにと、体をたくさん動かして過ごしました。

すると、雨もマシになり、風がなかったので無理かと思われたカヤックができることに！オールを使い方に四苦八苦しながらも、二人で協力しながらなんとか進めるようになっていきました。

夜はキャンプファイヤーが雨でできなかったのも、火の神様の言葉とともに始まったキャンドルファイヤー。進化じゃんけん、猛獣狩り、船長さんの命令、スタンプなど、大盛り上がりの夜を楽しみました。

2日目は陶芸体験からスタートです。「いかにも！」という風貌の陶芸の先生から説明を受け、滋賀の土で思い思いのコップを作りました。粘土をたたいてのぼして、土の感触を楽しみながら琵琶湖の思い出を模様刻んでいき完成したコップは、電子レンジも可！食洗器も可！の優れもの。日常使いができるといいですね。

さらに雨も上がり、昨日中止となった魚つかみを行いました。風が強く波があるため、浅瀬に魚を囲い、波間から魚を探し、手づかみを試みました。うまくつかめた人も、残念ながらつかめなかった人も、最後はおいしくいただきました。

そして最後の活動、カレー作りに挑戦です。飯盒で火を起こして煙で目が痛くなったり、なかなか野菜がうまく切れなかったり、班の人と協力しておいしいカレーが完成しました。自分たちで作ったカレーはいつもよりさらにおいしく感じるかもしれませんね。

たくさんの思い出ができた自然学舎。「まだもう1泊したい」という気持ちを胸に、帰りはみんな爆睡で学校に到着しました。日程的に翌日は登校となり、疲れも残る中だったのですが、みんなよくがんばって学校に来ました。



個人懇談ありがとうございました

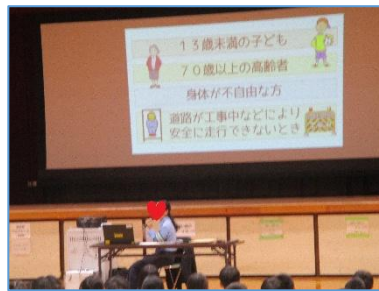
7月9日から14日まで、個人懇談がありました。短い時間ではありましたが、学校での子どもたちの頑張りや気になるところをお伝えし、お家での様子をお聞かせいただきました。それらを生かして、また2学期から子どもたちが安全・安心な学校生活を送れるように、教職員一同力を尽くしていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

交通安全教室

7月8日(水)に体育館にて交通安全教室がありました。豊中南署から来られた警察官2名が自転車の乗り方や交通安全についてお話をしてくださいました。

自転車に乗る前にハンドルやライト、ブレーキ、タイヤ、ベル、サドルに異常がないかしっかりと点検してから乗るようにすることや、自転車で交差点に差し掛かった時、どこの信号を見て判断すればよいのか、自転車は道路のどこを走るべきなのか、など、クイズ形式で楽しく学ぶことができました。

明日からの夏休みでも、交通安全に気を付けて、ケガなく安全に過ごしましょう。



あいさつ・募金活動

6月30日から7月3日の間、役員会の人たちが毎朝、北門と南門に立って、あいさつ・募金活動を行いました。朝、登校してきた人たちの中には眠そうな人や、学校に来るのが不安な人、朝からお家の人に怒られて気分が沈んでいる人など、いろいろな状態の人がいます。そんな中、大きな声と大きな笑顔で「おはようございます！」とあいさつをして、募金を呼び掛ける役員会の子どもたちを前に、顔が上がり、心と笑顔になります。子どもたちの力ってすごいですね！

募金活動では初日から手に募金用封筒を握りしめて登校し、募金箱に入れてくれる人や、「今日は持ってきてないけど、明日もってくるから」と伝えてくれる人など、子どもたちやお家の方々の気持ちがたくさん詰まった募金がたくさん集まりました。今年は例年の「赤い羽根募金」ではなく、「青い羽根募金」に取り組みました。青い羽根募金とは、海の事故や遭難者の救助にあたる全国の民間ボランティア救助員(約5万人)の活動を支援する募金です。夏休みには海や川などに行く人もいます。そういった水難事故に遭わないように安全に過ごせるといいですね。

